



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

関西学院大学理工学部物理学科専任教員

1. 教授、准教授または専任講師（3名ないし4名）
2. (1) 関西学院大学理工学部物理学科
(2) 兵庫県三田市
3. 宇宙物理学・天文学の観測・実験分野（相対論実験分野を含む）
4. 学部・大学院における物理学の講義・実験科目ならびに専門分野の基礎科目など
5. (1) 2015年4月1日
(2) なし
6. 着任時までに博士の学位を有し、学部・大学院の学生に対する教育・研究指導に十分な能力のある方。
7. (1) 履歴書（写真貼付）、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文の別刷り3編以内と、それらの要約、(4) 研究成果の説明と着任後の研究計画および教育に対する抱負（3000字以内）、(5) 推薦書2通（または所見を求め得る方2名の氏名と連絡先）
8. 2014年7月25日（金）必着
9. (1) 〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地
関西学院大学理工学部長 加藤知
(2) 物理学科 高橋功
Tel: 079-565-9722
e-mail: z96019@kwansei.ac.jp
10. 「物理学科人事応募書類」と朱書きのうえ、郵送してください。
提出書類は返却いたしませんのでご了解ください。

11. 男女を問わず、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は履歴書の備考欄などに付記してください。関西学院は男女共同参画を推進しています。意欲のある女性研究者の積極的な応募を期待します。詳細は理工学部男女共同参画推進委員会のサイト <http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/gender/> をご覧ください。当理工学部は講座制ではありません。専任講師以上の教員は一人一人が独立した研究室において責任をもって研究・教育を遂行します。

東京大学宇宙線研究所教授

1. 教授1名
2. (1) 神岡宇宙素粒子研究施設
(2) 岐阜県飛騨市
- 3・4. 本研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設に所属し、同施設が推進するスーパーカミオカンデ等による地下を利用した宇宙・素粒子研究、施設の将来計画、施設の管理・運営において中核的役割を担える方。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし
6. なし
7. (1) 履歴書 (2) 研究歴（A4判で3頁以内）(3) 業績リスト（論文リスト、研究発表リスト等）、及び主要論文別刷（5編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。(4) 着任可能時期 (5) 着任後の研究計画（A4判で3頁以内）
8. 平成26年8月1日（金）17時必着
9. (1) 郵送〒277-8582 千葉県柏市柏の葉5-1-5
東京大学宇宙線研究所総務係
e-mail: application@icrr.u-tokyo.ac.jp
(2) 東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設長 中畑雅行
Tel: 0578-85-9603
e-mail: nakahata@suketto.icrr.u-tokyo.ac.jp

10. (1) から (5) までの書類を、e-mailに添付（電子ファイル）で提出してください。やむをえない場合は書留での郵送でも結構です。郵送の場合は封書に「教授応募書類（神岡）」と朱書きしてください。e-mailによる提出に対しては、受信した旨の返信をします。必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 選考は、書類選考の後、面接を受けていただくことを原則とします（面接を受けていただく方には詳細を連絡します）。「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。
10. 以下 (1) から (7) までの書類を、e-mailに添付（電子ファイル）で提出してください。やむをえない場合は書留での郵送でも結構です。郵送の場合は封書に「教員応募書類（重力波）」と朱書きしてください。意見書は、作成者から直接e-mailに添付または郵送で応募締切日までに提出してください。応募書類・意見書のファイル形式はpdfとします。e-mailによる提出に対しては、受信した旨の返信をします。必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 選考は、選考委員会による書類選考（第一次審査）を行い、最終選考は面接によります（面接を受けていただく方には詳細を連絡します）。「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

東京大学宇宙線研究所教員

1. 准教授または助教1名
2. 宇宙線研究所重力波推進室神岡分室（岐阜県飛騨市神岡町）。ただし宇宙線研究所（柏）において装置の開発・試験を行う必要がある場合は、相談のうえ、最長で平成27年12月末日まで柏勤務とする場合があります。
- 3・4. 大型低温重力波望遠鏡（KAGRA）プロジェクトにおいて現重力波推進室メンバーと協力して神岡にてKAGRAの重要な装置部分の建設・調整に責任をもってあたり、装置完成後はKAGRAを共同利用施設として運用し、重力波のサイエンスを推進できる方を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし
6. 博士号を取得している者。
7. (1) 履歴書（市販の様式相当、Eメールアドレスを必ず記入してください。）(2) 研究歴（A4判3頁以内）(3) 業績リスト（論文リスト、口頭での発表を含めた研究発表リスト等）、および主要論文別刷（3編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。(4) 着任可能時期(5) 着任後の研究計画（A4判3頁以内）(6) 応募する職種(7) 意見書または推薦書2通
8. 平成26年8月1日(金) 17時必着
9. (1) 郵送〒277-8582 千葉県柏市柏の葉5-1-5
東京大学宇宙線研究所総務係
e-mail: application@icrr.u-tokyo.ac.jp
(2) 同研究所長 梶田隆章
e-mail: kajita@icrr.u-tokyo.ac.jp
Tel: 04-7136-3100

平成26年度国立天文台プロジェクト研究員（チリ観測所）（年俸制特任研究員）

1. 年俸制特任研究員
募集人員：若干名
2. 東京都三鷹市（ただし、チリ、日本、欧州、北米、台湾等に出張の可能性があります）。
- 3, 4. ALMAは、2013年から共同利用サイクル1が開始され、2014年6月からはサイクル2が開始される予定です。ALMAなどを用いた研究を推進していただくために、研究員を募集します。研究員には、勤務時間の50%を用いて、ALMA、または、チリ観測所が運用しているASTE望遠鏡、Mopra 22 m電波望遠鏡などを用いて自身の研究を推進していただきます。勤務時間の残りの50%を業務にあて、これらの望遠鏡の運用の支援（共同利用支援）、ALMAの科学評価データの解析（論文執筆を含む）、または、ALMA、ASTEに関係する開発（装置、ソフトウェア）、のうちの一つ以上を行っていただきます。
5. (1) 平成26年10月1日以降。
(2) 原則として着任日より3年間ですが、年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし、平成16年4月以降、すでに国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は、通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。再任は、個別事項に述べられている場合を除き、審査のうえ、1回に限り可能です。ただし再任後の任期は半年以上2年以下で、通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。

6. 博士の学位を取得した者または平成26年9月30日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト(査読論文と, その他を区別し, 共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編以内のPDFファイル, (5) 研究計画書, (6) 推薦者の名前(2名)。応募書類は英文で書いてください。推薦書は推薦者が応募締切りまでに提出先へ送ること。推薦書は必ず2通をお願いします。
8. 平成26年7月1日(火)正午必着
9. (1) 応募書類, 推薦書とも
e-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
応募書類の受理に関する問合せも同じ。
(2) e-mail: k.tatematsu@nao.ac.jp
10. 応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡すること。
11. 裁量労働制の常勤職員として月額30万円の給与および通勤手当, 年間50万円の研究費が支給されます。着任のための旅費も支給します。健康保険, 年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス, 退職金の支給はありません。科学研究費補助金の応募資格があります。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは
<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。
5. (1) 決定後, なるべく早い時期。(2) なし。定年は65歳。
6. 次の条件をすべて満たすこと。
(1) 博士の学位を有する。(2) 国籍は問わないが, 日本語での教育や大学運営に支障がない。
7. (1) 履歴書(写真貼付), (2) これまでの研究内容の概要, (3) これまでの教育活動の概要, (4) 業績一覧。下記の分類ごとに, 著者名・題名・発表年・掲載誌・巻・ページを記載のこと。i. 査読付き論文, ii. 著書, iii. 国際シンポジウム等の集録(査読付きの場合はその旨を記載), iv. 最近5カ年の国際研究集会での発表(招待講演の場合は, その旨を記載), (5) 過去10年間の競争的資金獲得状況, (6) 研究計画, (7) 教育についての抱負, (8) 主要論文別刷5編以内(コピー可), (9) 応募者に関して問合せのできる方2名の氏名と連絡先(電子メールアドレスを含む)
8. 2014年7月15日(火)17時必着。
9. (1) 〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-35
鹿児島大学大学院理工学研究科 物理・宇宙専攻教員選考委員会委員長 半田利弘
(2) 半田利弘 Tel: 099-285-8967
e-mail: handa@sci.kagoshima-u.ac.jp
10. 封筒に「物理・宇宙専攻教員応募書類」と朱書きし, 簡易書留相当で送付のこと。選考過程で面接を行う場合あり(その際の旅費は支給せず)。応募書類は返却しません。
11. より詳しい情報を掲載しているので, 以下のwebページもご覧ください。

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/about/140520/butsuri.pdf>

※本学は, 男女共同参画社会基本法の精神に則り, 女性研究者支援をはじめとする男女共同参画に係る取組を積極的に推進しており, 女性研究者の積極的な応募を歓迎いたします。支援内容の詳細(支援員制度, 相談体制等)については, 以下のURLをご覧ください。

鹿児島大学男女共同参画推進センター
<http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>

※応募者から取得した個人情報については, 鹿児島大学大学院理工学研究科の教員採用の目的だけに利用し, 本学以外の第三者に提供または公表いたしません。

鹿児島大学 大学院理工学研究科 物理・宇宙専攻教員

1. 准教授(1名)
2. (1) 理工学研究科 物理・宇宙専攻 宇宙情報講座, (2) 鹿児島市
3. 天文学。天の川銀河や近傍銀河の構造や性質に関する研究を行える人が望ましい。
4. (研究): 当講座の教員と連携し, 当専攻の教育研究活動を強化発展できるテーマを追求することが望ましい。
(教育): 物理科学科の学部生や物理・宇宙専攻の大学院生の研究指導と授業のほか, 共通教育等, 他学科・他学部学生を対象とした授業も担当。
(大学業務): 各種委員会等, 大学運営に関する業務も応分の負担あり。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

鹿児島大学大学院理工学研究科物理・宇宙専攻准教授

1. 2013年6月（第106巻第6号）
2. 永山貴宏（名古屋大学理学研究科特任助教）
3. 2014年4月1日

京都大学基礎物理学研究所教授

1. 2014年4月（第107巻第4号）
2. 向山信治（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構）
3. 2014年10月

研究会・集会案内**第23回 公開セミナー「天文学の最前線」
～宇宙の大中小～**

名古屋大学と名古屋市科学館では毎年夏休みの時期に、第一線で活躍する天文学研究者を集め、一般向けのわかりやすい講演会と体験型研究室紹介を開催しております。23回目の今年は、「宇宙の大中小」と題し、宇宙を織りなす素粒子から大規模構造に至るさまざまな「大きさ」に着目し、幅広い分野の講師の方々が講演します。

日 時：平成26年8月18日(月)～20日(水)

会 場：18日：名古屋大学・経済学部・法経本館共用館・カンファレンスホール

19日：名古屋市科学館・サイエンスホール、
プラネタリウムドーム（ブラザーアース）

20日：名古屋大学・野依記念学術交流館

主 催：名古屋大学大学院理学研究科，名古屋市科学館

講 師：大藪進喜，小林 浩，関華奈子，竹内 努，
立原研悟，野田 学，日影千秋，三石郁之，
三宅美沙

内 容：講演会（18,19日），体験型研究室紹介（20日）

対 象：高校生以上

定 員：300名（応募多数の場合は，高校生・大学生・教員を優先に抽選。研究室紹介見学は定

員100名）

資料代：500円（高校生），1,000円（一般）

問合せ先：名古屋大学大学院理学研究科

U研「公開セミナー」係（月～金10:00～
17:00） Tel:052-788-6188

締 切：7月11日(金) 必着

申込方法：インターネット，もしくは往復はがきでお
申込みください。

○インターネット：公開セミナーホームページ

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/study/astro/seminar/>

○往復はがき：「返信面の裏面」に催し名「公開セミナー」，住所，氏名（ふりがな），高校生・大学生・教員・一般の区分，一般以外は学校名，研究室紹介参加希望の有無「返信面の表面」に参加者の住所と氏名（返信面の裏面には何も記入しないでください。）

を記入のうえに，下記の住所までお送りください。

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号

名古屋市科学館学芸課天文係「公開セミナー」係
（申込時の情報は，主催者開催のセミナー等の案内以外には使用しません。また，締切後，1週間程度で受講票をお送りします。当日は受講票を持参のうえ，ご参加ください。）

高校・大学でまとまって参加を希望される場合には，上記名古屋大学U研公開セミナー係に電話でお問い合わせください。

会 務 案 内**2015年度内地留学奨学金の希望者の募集**

2015年度内地留学奨学金希望者の募集を行います。内地留学奨学金は，主として学校の教員，科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などや，アマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。この奨学金を受給された場合，日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し，そこの研究者の指導を受けて研究活動を行うことになります。これまで多くの方々がこの制度を利用し，それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。過去の奨学金の対象となった研究テーマは，本会の会員名簿の巻末，および学会ホームページ

(http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)に掲載されています。なお，研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者がわからない場合は，できるだけ

早めに、内地留学奨学金選考委員長にご相談ください。

多くの方々のお応募をお待ちしています。

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採 択 数：若干名

留学期間：2015年4月から2016年3月までの12カ月間のうち希望する期間。

受入研究機関、指導教員（受入研究者）と相談のうえ、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設定したりするなどの方法が考えられます。研究終了後、2カ月以内に研究報告書の提出をお願いいたします。

支 給 額：25万円以下。支給は2015年4月を予定。

申 込 み：応募申請書に必要な事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得たうえ、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長 宛に郵送してください。

応募締切：2014年8月31日（日）必着。

審 査：内地留学奨学金選考委員会（内規第5条）で審査のうえ、決定し、10月中旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務所にあります（学会事務所に連絡をくだされば、お送りします）。申請書の書き方の例もありますので、ご請求ください。日本天文学会のウェブページ（「各種手続・書式」の「内地留学」の項、http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html）からもダウンロードできます。なお、日本天文学会会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：内地留学奨学金選考委員長

松村雅文

〒760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部

Tel: 087-832-1466 Fax: 087-832-1615

e-mail: matsu@ed.kagawa-u.ac.jp

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）**vol98**（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光（編集長）、市来浄興、大栗真宗、勝川行雄、富永 望、平松正顕、廣田朋也、馬場 彩、前野将太、町田正博、吉田二美

平成26年6月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円（本体667円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2014年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）